

# 1. 調査報告概要表

## 【認知症対応型共同生活介護用】

作成日 平成19年9月5日

### 【評価実施概要】

事業所番号	2770103782
法人名	社会福祉法人 関西福祉会
事業所名	陵東館秀光苑
所在地	堺市北区長曾根町1199番6 (電話) 072-252-6000
評価機関名	社会福祉法人 大阪府社会福祉協議会
所在地	大阪市中央区中寺1丁目1番54号 大阪社会福祉指導センター内
訪問調査日	平成19年8月21日

### 【情報提供票より】(平成19年8月1日事業所記入)

#### (1) 組織概要

開設年月日	平成14年5月1日		
ユニット数	3ユニット	利用定員数計	18人
職員数	15人	常勤	7人, 非常勤 8人, 常勤換算 13.8人

#### (2) 建物概要

建物構造	鉄筋造り		
	6階建ての 2階 ~ 6階部分		

#### (3) 利用料金等 (介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	42,000~60,000円	その他の経費(月額)	円	
敷金	有(円)	無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(円)	有りの場合 償却の有無	有 / 無	
食材料費	朝食	円	昼食	円
	夕食	円	おやつ	円
	または1日当たり 780円			

#### (4) 利用者の概要 (平成19年8月1日現在)

利用者人数	18名	男性	9名	女性	9名
要介護1	3名	要介護2	3名		
要介護3	7名	要介護4	3名		
要介護5	2名	要支援2	0名		
年齢	平均 85.1歳	最低	70歳	最高	98歳

#### (5) 協力医療機関

協力医療機関名	植木病院、八百歯科医院
---------	-------------

### 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

法人設立者は自らの家族介護の経験を通じて必要性を実感し、地域貢献を目的とした特別養護老人ホームを設置しました。さらに併設してグループホームを開設、ショートステイ、デイサービスセンターなど多機能の法人運営を行い地域に定着したサービスを提供しています。グループホームは1ユニット6人定員で3ユニットを設け、少人数を対象とした家庭的な支援をしています。玄関には鍵をかけずエレベーターで各階を自由に行きながら、隣接したデイサービスセンターや特養利用者との交流もクラブ活動を共にするなど日常的に行っています。明るく清潔で開放的なホームであり、趣味を生かすなど利用者の希望が尊重されており、安定した暮らしぶりが見られます。居室やベランダからは町並みが展望できる、畑作りをして実りを味わい喜びあう、地域の行事や趣味の会に参加するなど豊かな生活が感じられるホームです。

### 【重点項目への取り組み状況】

重点項目①	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連科目:外部4)
	前回評価の改善課題はグループホームの玄関を分かりやすくする表示の作成など4項目ありましたが、職員間で改善のための話し合いを行い、4項目全て改善されています。
重点項目②	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	管理者は職員が自己評価の意義を理解するよう事前に説明を行っています。職員は評価の意義を理解した上で、評価作業に取り組んでいます。
重点項目③	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)
	主な討議内容はホーム活動の報告、活動案の提示、意見交換です。主な意見には①遠足が全員参加で行われていることは評価できる。宿泊できるような取り組みができたらいいのではないかと。外出の機会を多くするのは良いことである。②他のグループホームとの合同の取り組みを期待する③小学校の七夕飾りに利用者も参加してほしい④(家族からは)入居して笑顔や会話が增えた。秀光苑だよりは写真が多くとても良い⑤(利用者からは)自分自身のことや、趣味の絵画についての報告等があります。ホームでは出された意見を十分検討して、今後の課題として取り組む予定です。
重点項目④	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)
	家族等へ定期的に「秀光苑だより」を発行して生活状況を報告しています。また金銭管理についても詳細に報告を行い、金銭出納帳に家族等の了承サインを得ています。苦情ボックスを設置する、家族へ常に問いかけるなど、何でも言ってもらえるような雰囲気作りを心がけています。家族会開催時は、家族だけの時間を作り意見が出しやすいような環境づくりをしています。家族会で出された意見については参加した方の代表者から報告を受けるようにしています。
重点項目④	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
重点項目④	お祭りや花見、もちつきなど地域自治会行事に参加する、小学校の行事に誘われ参加するなど地域との交流に努めています。今後は幼稚園、保育所との交流を予定しています。近隣の畑やお店に出かけて行き、近所の人たちと挨拶する、会話を楽しむなどコミュニケーションを図っています。

## 2. 調 査 報 告 書

(        部分は重点項目です)

外部	自己	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	グループホーム独自の理念を作成しています。理念では「地域の中で共に支えあい、共に歩む」を基本として「ゆったりとした自由な暮らし、穏やかでやすらぎのある暮らし、自分でできる喜びを感じる暮らし、自分らしさや誇りを持った暮らし」を目標に掲げ、利用者一人ひとりのペースに合わせた暮らしや今まで培われてきた生活の流れを大切にする支援を明確にしています。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	理念は分かりやすく記載しホーム内に掲示しています。職員は職員会議やカンファレンスなどで理念を共有し具体化するよう努めています。また、日常支援において標語を決め、理念の実践につながるように取り組んでいます。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに務めている	お祭りや花見など地域自治会行事に参加する、小学校の行事に参加するなど地域との交流に努めています。今後は幼稚園、保育所との交流も予定しています。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	管理者は職員が評価の意義を理解するよう会議で説明をしています。職員は評価の意義を理解した上で自己評価作成に取り組んでいます。また前回の外部評価で受けた提案や助言は職員間で検討し、ほぼ全項目の是正をしています。検討した内容は会議記録等に記載して、サービス向上に努めています。		
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議の規定を定めています。運営推進会議は2ヶ月に1回開催し記録を残しています。19年度は偶数月に6回開催予定で設定、実施しています。会議で出された意見については職員会議で検討し業務に反映するように努めています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会づくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	保健福祉総合センター、地域包括支援センターとの連携を図り、サービスの質の向上に取り組んでいます。具体的にはグループホーム勉強会や研修会への助言を得る、ケースの相談をするなど日常的な連携強化に努めています。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	家族等へ定期的に「秀光苑だより」を発行し、利用者の近況を報告しています。家族の面会時には健康面や暮らしぶりなどの詳細を報告しています。また、家族関係の修復にも取り組んでいます。小口金銭の管理については預り証を発行し、個人金銭出納帳を記載しています。出納帳の記載内容については家族等の署名、了承印をもらっています。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族が来られたらできるだけ要望を聞くようにしています。また、利用者の希望や願いを聞きサービス向上に努めています。苦情相談ボックスを設置する、家族会の設立を支援するなど意見を出しやすい雰囲気づくりをしています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	法人内職員の異動は若干名で最小限にしています。管理者の異動は無く、安定したサービスを供給しています。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	1年間に外部、内部研修を合わせて6回以上の研修を行い、初任者に対する内部研修も行なっています。特に認知症対応について力を入れ、感染症対策にも取り組んでいます。研修予定は職員全員に知らせ、受講しやすい環境づくりをしています。研修記録は分かりやすく整理し、職員間で共有しています。		
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	管理者や職員は地域の同業者連絡会や研修会に月1回以上参加し、積極的に情報交換をするなど相互に研鑽を行いながらサービスの質の向上に努めています。運営者は同業者との交流や連携の必要性を理解し、同ホームが地域の牽引車としての役割を果たすよう支援しています。また大阪府下対象のネットワーク「大阪認知症高齢者グループホーム協議会」に加入しています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>Ⅱ. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	入居前の見学や入居時の面接などは本人と共に来て頂くように家族に依頼しています。見学は何度でも利用者が納得されるまで受け入れています。必要な場合には体験入居を行い利用者が安定した状態で入居できるように努めています。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学び支えあう関係を築いている	職員は家事をはじめ、生き方についても利用者から学ぶことが多く、助け合う関係を大切にしています。職員から利用者に対し「皆さんが先生です。」と言える関係が生まれています。利用者が自分の得意なこと、できることを率先して行うことで、利用者相互の支援につながり職員は支えられ励まされています。日常の楽しみごとや苦勞を共にしながら和やかな関係を築いています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日常的なかかわりの中で自然な形で利用者の意向が聴取され、また言葉が出にくい利用者には表情やしぐさで意向を確認するなど、それぞれの状態に合わせたきめ細やかな援助をしています。さらに、意向が日によって変わる場合もあるので、その日の希望を確認するような取り組みもしています。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	アセスメントにより、利用者の求めていることや家族の願いを反映した介護計画を作成しています。介護計画に沿ったケアを行っている記録があります。介護計画書は利用者、家族等への説明を行った上で、家族等または利用者の署名・押印をもらっています。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じた見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	4ヶ月～6ヶ月毎に見直しを行っています。見直し時期以外にも必要時には見直しを行い、利用者の変化に応じた介護計画書を作成しています。アセスメント表、モニタリング記録、カンファレンス記録を作成しています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援（事業所及び法人関連事業の多機能性の活用）					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々 の要望に応じて、事業所の多 機能性を活かした柔軟な支援 をしている	本人や家族の意向や状況に 応じて医療機関への通院支 援を行っています。同法人運 営診療所との医療連携支援 により、待ち時間などの負 担を少なくする医療処置を 受けながらホームの生活支 援を行っています。外出時に 希望があれば自宅への立ち 寄り支援を行っています。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域支援の協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大 切にし、納得が得られた、か かりつけ医と事業所の関係 を築きながら、適切な医療 を受けられるように支援して いる	利用者がそれぞれの、かか りつけ医師（医療機関）で 引き続き医療を受けられる ように、一人ひとりの希望 を尊重した支援をしてく れています。受診支援や結 果の報告などについても希 望に応じて対応してく れています。歯科訪問診療 を定期的に受けられるよ うにするなど、きめ細やか な医療支援をしてく れています。		
19	47	○重度化や終末期に向けた 方針の共有 重度化した場合や終末期の あり方について、できるだけ 早い段階から本人や家族等 ならびにかかりつけ医等と 繰り返し話し合い、全員で 方針を共有している	利用者が重度化した場合 や退居に当たっての条件を 入居契約書に明記し、入居 時に説明し了解を得ていま す。重度化した場合の対応 については、早い段階から 利用者や家族等の意向を 汲み取り、かかりつけ医と 相談しながら施設が対応 できる支援方法を示し、家 族と利用者の希望に添え るようにしています。		



外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	利用者一人ひとりを大切にされた対応や言葉かけをしています。個人情報についての取り扱いについては運営規定に明記し、従業員の雇用契約としては職員が退職した後も秘密保持を義務付ける内容にしています。記録等の保管は厳重にしています。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者一人ひとりが好みや意志を発揮した動きのある暮らしが見られました。利用者のペースが尊重される中で利用者同士の交流が随所で成立しています。テレビ観戦、習い事、入浴スケジュールに配慮するなど利用者の予定や体調、気分に合わせて支援をしています。		
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	同法人特養の献立を活用し、利用者の希望を聞きながらメニュー作りをしています。職員と利用者が共に育てた畑の野菜を収穫し、季節のものを味わう取り組みもしています。おやつ作りについては食材の購入から利用者と共に出かけ、手作りを楽しんでいます。利用者は男性も含めて盛り付け、配膳、後片付けを楽しんで参加しています。職員は利用者のペースを尊重し、話題を提供しながら一緒に食事を楽しんでいます。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	毎日の入浴を提供していますが、利用者が2日に1回、3日1回と体調に合わせて入浴日を設定されることについては尊重しています。希望者には夜間入浴を提供する、利用者のスケジュールが重なる場合には優先する方を選んでもらい調整するなどの配慮をしています。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている。	献立表のメニュー書き、植物の毎日の水遣り、食器や箸の準備、買い物などそれぞれが役割を持ち日課にしています。絵画や創作絵、はり絵を楽しんだり、好きな歌を歌ったり、特養利用者と合同のクラブ活動をしたり、回転寿司などの外食を楽しむなどの支援をしています。絵画の得意な利用者には本格的な作品発表の場を提供しています。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	スーパーへの買い物や散歩、散髪やクリーニングの利用などでの外出、回転寿司など外食をするための外出、家族と共に行う外出などを数えると週1回以上外出している利用者がほとんどです。一部、猛暑のため体調を気遣い外出の少ない利用者もおられます。それぞれの記録を総合すると外出の状況は確認できますが、職員間の情報共有を効果的に行い支援に活かすためには、利用者一人ひとりの外出状況が一覧できるような記録の工夫が望まれます。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	ホームの玄関およびエレベーター、総合玄関には鍵をかけず利用者は自由にエレベーターを利用し他のユニットや隣接する同法人特養施設を訪問することができます。身体拘束はありません。		
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	マニュアルを作成し、消防署の協力を得て年2回の消防、避難訓練を行っています。また、2ヶ月に1回、独自の避難訓練を行ない非常口の確認や誘導場所など利用者と共に取り組んでいます。2～3日は対応できるように乾パンなど非常用食料品と水の備蓄をしています。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	同法人に所属する管理栄養士が作成した献立表を活用しています。食事摂取量は三食を確認し、水分摂取量は食事以外で1000ccを目安に摂取できるよう支援しています。水分摂取は一覧表に記録をしていますが、更に食事時や服薬時に水分摂取の声かけをする、湯飲みの残量チェックをするなど、実際の場面での支援を丁寧に行うことが望まれます。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり (1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	食堂、居間のフローアールと居室フローアールが分かれており、利用者はエレベーターを活用し居室とを行きされています。廊下やトイレ、浴室などの共有空間が広くゆったりと過ごすことができます。居室やベランダから町並みが展望でき開放感を味わうことができます。不快な音や光を感じることはありません。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室は全室に窓があり、明るく清潔に整えられています。利用者は自作の絵画、家族の写真、机、イス、タンス、衣装ケース、テレビ、時計、冷蔵庫などの馴染みの家具に囲まれて過ごされています。利用者に自宅から馴染みの品を持参されるように勧め、今までの生活習慣を生かした居室設定に努めています。		